

学校名	三郷市立瑞木小学校
所在地	三郷市さつき平1丁目6番地1号
電話	048-957-1310

1 本校の概要

本校は、三郷市北部のさつき平、ららシティ、三郷団地を中心とした児童が集まり、児童数も増えつつある。「豊かな心を育てる読書教育」を目指して、図書館環境の整備、図書ボランティア、絵本の会など地域との連携を大切にしながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣の形成に係る取組
- ・読書活動の質の向上
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 朝の読書タイム

毎週月曜日は、「読書タイム」として全校で朝読書に取り組んでいる。また、「絵本の会」のみなさんによる読み聞かせも行っている。

イ 本を手にとってみたくなる、明るい図書館づくり

本棚を1段高くしておすすめの作家コーナーや、新着本の平台を設置したり、廊下に高学年向けの本の展示棚を作り、ブックストリートにしたりして、児童の関心を高める工夫をしている。各学年の廊下には、学年文庫として本棚が設置しており、司書により毎月テーマごとの展示を行い、本に親しめるようにしている。



ウ 学年目標達成賞

1・2年生は100冊、3年生は80冊、4年生は5000ページ、5年生は6000ページ、6年生は7000ページである。20冊ごとに星のカードを書き、達成すると色が変わり、職員室前に掲示していつでも見られるようにしている。また、12月現在学年目標を達成した児童が365名中251名を超え、子供たちの読書への意欲の高まりを感じた。



エ 異学年との交流読書

10月・11月の読書週間中に、縦割り班でのペアの読み聞かせを行っている。読み聞かせをする4・5・6年生は、読み聞かせ当日に向けて慎重に選書し、何度も本の音読練習をしている。学年を重ねるごとに読み方や引き付け方が上手になり、低学年も楽しみにしている取組の一つとなっている。

オ 読書月間での『読書郵便』

10・11月の読書月間を利用して、校内郵便ポストを設置した。休み時間を利用して意欲的に取り組んでいる児童が多く、書き方も定着してきた。学年問わず、異学年での郵便も行われていた。



カ 学校司書によるブックトーク

学校司書の授業補助で、ブックトークや調べ学習のレファレンスなどを行っている。国語の学習と関連して、教科書に載っている本の紹介や単元に合わせたテーマのブックトークを行っている。



キ 23日は家読の日

毎月23日の家読の日には、用紙を配布し、家読の活性化を図っている。保護者の方からも温かな感想を頂き、家庭でのふれあいづくりの一環にもなっている。

ク 絵本の会さん、いなば会さんによる読み聞かせ

朝読書の時間以外にも年に二度、各クラスに1時間程度の読み聞かせを行っている。手作り紙芝居やブックシアターなど毎年工夫を凝らした読み聞かせをして頂いている。



ケ 夏休みの図書館開放

夏休みの開放日には、司書や絵本の会のみなさんのお話会、司書による工作教室も行った。たくさんの保護者・児童が本を借りに学校図書館を利用した。

コ 瑞木小「読書ライブ」

昨年度より、絵本作家を招き、実施した。作家の思いや願いに触れ、読み広げを行うきっかけとなった。PTAにも公開し、好評であった。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 音読朗読朝会や読書郵便、読書達成賞などの取組が定着し、読書活動がさかんになり、児童の読書冊数も増えている。

イ 図書ボランティア活動が充実し、年々人数が増え、図書館環境が更に良くなった。

ウ 音読朗読朝会に群読を取り入れることで、文章から感じるリズムを楽しむ機会が増えた。

エ 瑞木小読書ライブや異学年との交流読書により、本の内容の深い理解や伝えるための表現の工夫ができた読書活動の資質向上が図られた。

(2) 課題

図書委員による選書や図書委員会が催すイベントを充実させ、児童による自発的な読書活動を推進させていきたい。

(3) おわりに

読書活動が定着し、児童にとって本は身近な存在となった。今後、様々なジャンルの本を手に取り、幅広い読書活動が行えるよう、学校独自の取組をさらに充実させていきたい。